

次世代につなげよう! 『平和の想い』

# 「すぎなみ平和マップ」を作成し 配布を開始しました



昨年、戦後80年の節目を迎えたことから、杉並区は「杉並区戦後80年事業」の一環として、区内に残る戦争遺構や平和の象徴を紹介する「すぎなみ平和マップ」を作成し、3月9日に配布を開始しました。

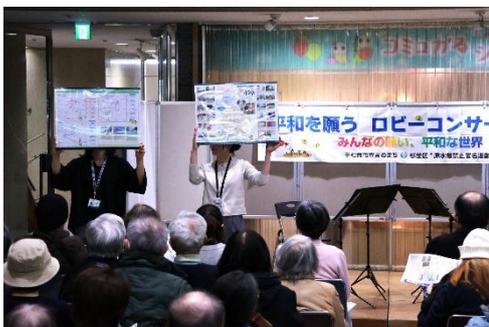
これまで杉並区では、戦争の悲惨さや平和の尊さへの認識を深めるため、「平和展」、「平和学習中学生派遣事業」及び「平和出前授業」などの取り組みを行ってきました。

しかし、戦後80年が経ち、戦争体験者や被爆者が少なくなり、次世代へ語り継ぐことが難しい状況の中、戦争の記憶を風化させず、継承していくため、区内の戦争遺構や平和の象徴を紹介する「すぎなみ平和マップ」を作成しました。



作成にあたり、公民連携プラットフォーム「すぎなみボイス」で区民の方から意見を集めたほか、区内の団体、大学などからも協力を得て、掲載する施設などを選定しました。すぎなみ平和マップには、旧陸軍気象部内にあった「気象神社」や、原水爆禁止署名運動の発祥となった杉並区立公民館の歴史を伝える『『オーロラ』の碑』などの戦争遺構、平和の象徴に関する写真や解説文のほか、モデルコースも紹介し、平和を考えるきっかけにしたいだけになっています。区立施設や区の平和事業などでの配布のほか、杉並区公式ホームページにも掲載しています。

また、3月9日～13日には「平和展～東京大空襲と、区内の戦争遺構や平和の象徴～」を杉並区役所で開催します。すぎなみ平和マップのお披露目や配布のほか、パネル展や被爆者(杉並区在住)証言記録映像の上映、令和7年度平和のためのポスターコンクール入賞作品の展示などを通じて、戦争の悲惨さや平和の尊さに思いをはせる機会を提供します。



## 【報道機関 問い合わせ先】

区民生活部管理課平和事業担当：03-3312-2111（内線 3754）  
広報課報道係：03-3312-2111（内線 1574）